

核兵器のない平和で公正な世界のために

日本政府は非核・平和の役割を



イラク戦争から5年 平和の声を大きく

「大量破壊兵器がある」と言ってアメリカが始めたイラク戦争は、この3月で丸5年を迎えます。イラクやアフガンの現状は、毎日、たくさんの子どもたちや女性、老人が犠牲になっています。平和と安定が訪れないばかりか、破壊と混乱が続き、世界から批判が噴出しています。それだけにイラク戦争を主導してきた勢力は、スペイン、イタリア、イギリス、オーストラリアなど、あいついで政権が交替しました。戦争では何も生まれず、憎しみの連鎖が広がるだけ…。これがこの間の最大の教訓です。平和を求める声を大きく広げましょう。

核兵器廃絶を求める声は

世界の大きな流れに

「核兵器のない平和で公正な世界を」…。これらの声と行動は大きく広がり、国連総会では、核兵器廃絶の決議が、圧倒的大差で採択されました。米国内でも、キッシンジャー氏など元高官が「核兵器のない世界」を再びよびかけ、歴代の元国務長官や国防長官らに賛同が広がっていることが明らかにされました。英国防相が「核兵器のない世界」に向けて、核保有国に行動を訴えるなどの変化もおこっています。これらの流れをさらに大きくしていくために、「すみやかな核兵器廃絶」を求める署名にご協力ください。

日本政府は、

非核平和の役割果たせ

日本は被爆国であり憲法9条をもつ国です。にもかかわらず、米軍が市民生活を恐怖に陥れ、米軍艦船が民間港に度々寄港し軍港にするような動きが広がっています。自衛隊の海外派兵恒久法が企図され、「ミサイル防衛」の名でミサイルやレーダーがあちこちに配備されています。

今年7月には北海道・洞爺湖でG8サミットが開かれますが、日本政府は議長国としても、非核平和のために積極的役割を果たすことが求められています。



許せない沖縄少女暴行事件—一日も早い基地の縮小・撤去を

2月10日、またしても起きた沖縄米海兵隊員による中学3年生の女子生徒暴行事件。私たちは満身の怒りを込めて抗議します。米軍基地あるがゆえにこの種の事件が繰り返されています。一日も早い米軍基地の縮小・撤去を要求します。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www10.plala.or.jp/antiatom>